

保証とアフターサービス (よくお読みください)

型名: SP-KL03

お客様	ご住所	〒 電話														
	お名前	ふりがな														
保証期間	お買い上げ日			年			月			日	本	1	年	年	月	日まで
販売店	電話															

■ 修理の際は

下記の保証規定の範囲内で無償修理をさせていただきます。

※ 販売店印がない場合は無効ですので、必ず印の有無をご確認ください。もし印がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。または商品の着荷時の送り状を貼り付けてください。なお、本書は再発行しませんので大切に保管してください。

※ 販売店へのお願い
お買い上げ日・貴店の住所・名称・電話番号を押印の上、お客様にお渡しください。

※保証期間内に故障して無償修理をお受けになる時は、商品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼下さい。保証期間内でも次の場合は有料となります。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字を書き換えられた場合。
- (ト) 本書は日本国内においてのみ有効です。

販売元 **株式会社ジェネレーションパス** 製造元 **株式会社ヒロ・コーポレーション**
〒800-0236 福岡県北九州市小倉南区下貫 2 丁目 7-1

サービスセンター

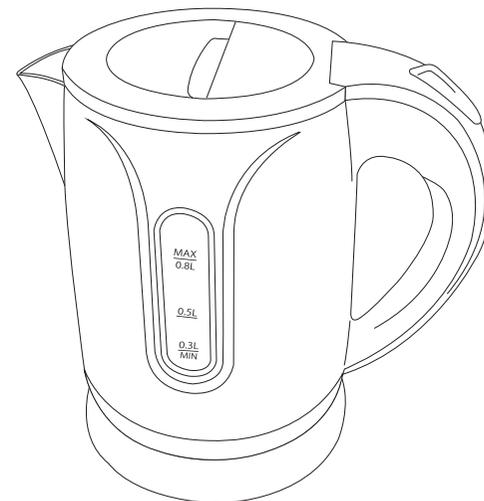
TEL : 0120-05-1783 ※受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日祝日除く)
携帯電話から : 092-408-6261 (携帯電話からご利用の場合、通話料はお客様負担となります)
Eメール : info@kom408.com

取扱説明書

SP-KL03

s!mplus 電気ケトル 0.8L

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。
また、取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。
「保証書」はお買い上げ日・販売店名の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



家庭用

- * 水以外は沸かさないでください。
故障や誤作動による事故の原因となります。
- * 直火(ガス台等)や電気ヒーター・電磁調理プレートなどの上のせないでください。
- * 保温機能はありません。

目次

安全上のご注意	1~3
お知らせ・お願い	4
各部の名前とはたらき	5
使い方	6~8
お手入れ	9~11
このような時は・仕様	12
保証とアフターサービス	13~14

安全上のご注意

ご使用になる前にお読みください。

- ・お湯をわかすときは必ず上ブタをしっかりと締めください。
- ・水以外は沸かせません。
- ・保温機能はありません。
- ・火にはかけられません。直火、電気ヒーターにはのせないでください。
- ・湯わかし中は注ぎ口をなにかでふさがないでください。
- ・湯沸かし中、湯沸かし後はハンドル以外の本体部は熱くなるので、ふれないでください。また、熱い蒸気に気をつけてください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温-低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

○は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意



警告

本機には転倒時の漏水防止機能は有りません。転倒すると熱湯が漏れ出し火傷の恐れがございます。子供の手の届かない、又コードが足等に引っ掛からない場所に設置してください。



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理は、お買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。



水ぬれ禁止

ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない

ショート、感電、故障の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



禁止

直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せない

火災の原因になります。



接触禁止

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電、ショート、発火の原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ハンドル以外的高温部にふれない

やけどの原因になります。お湯が沸いたときのケトル表面は、約80℃以上になります。



根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり挟み込んだり、加工したりしない

コードが破損し、火災、感電の原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、注ぎ口やふたに顔や手を近づけたり、手を触れない

やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにしてください。



100V・10A以上

電源は交流100Vで定格10A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災・感電の原因になります。



禁止

ケトルを傾けたり、ゆすったり、転倒させない

湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



禁止

最大目盛(MAX)以上の水を入れない

沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



ほごりとる

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほごりが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



確実に閉める

湯沸かし中、ふたを確実に閉める

ふたをしっかりと閉めない、沸騰してもスイッチが切れません。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないまた、ケトル本体底部や電源ベースの接触端子部にふれない

感電やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

電源ベース、電源コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない

ショート、感電、故障の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意



ハンドルを持つ

ケトルを持ち選ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持つ

ケトルが落下したり、湯がこぼれたりして、けが、やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



冷えてから行う

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

高温部に触れるとやけどの原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



禁止

ケトル本体は湯沸かし以外の用途で使わない

氷を入れて保冷用に使わない

感電、故障などの原因になります。



しっかり載せる

ケトルは電源ベースの中央にしっかり載せる

転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



禁止

専用の電源ベース以外は使わない

また、電源ベースは他の機器に転用しない

発火、故障などの原因になります。



プラグを抜く

使用以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

感電、ショート、発火の原因になります。



接触禁止

ふたをあけるときの出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。



プラグを持って抜く

異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

やけどの原因になります。



禁止

電源ベース中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない

ショート、感電、故障の原因になります。

お知らせ

本製品は水タンク部がプラスチック製の為、ご使用からしばらくの間多少プラスチックのにおいがしますがご使用とともに消えます。何卒人体等への影響はございませんのでご承知おきくださいませ。

お願い

ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。

故障の原因になります。

余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

水以外のものを沸かさないでください。

故障や汚れの原因になります。

ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。

表面を傷めます。

お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、およそ7分30秒です。

食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。

変形の原因になります。

残り湯は捨ててください。

放置すると変色・腐食の原因になります。

洗剤を使わないでください。

においの原因になります。

本製品は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけ沸かしてください。

ケトル内部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。

汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

長時間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

ケトルの最小目盛(0.3L)かMAX(0.8L)の範囲でお湯を沸かしてください。

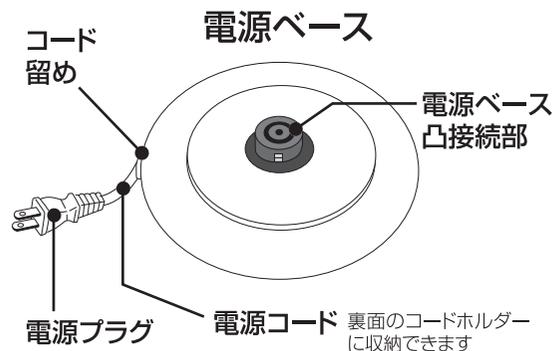
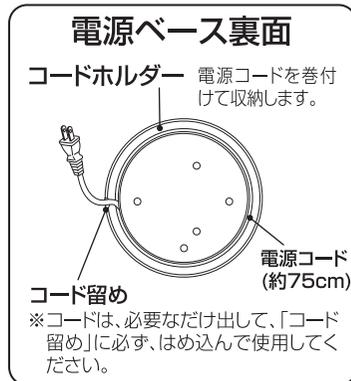
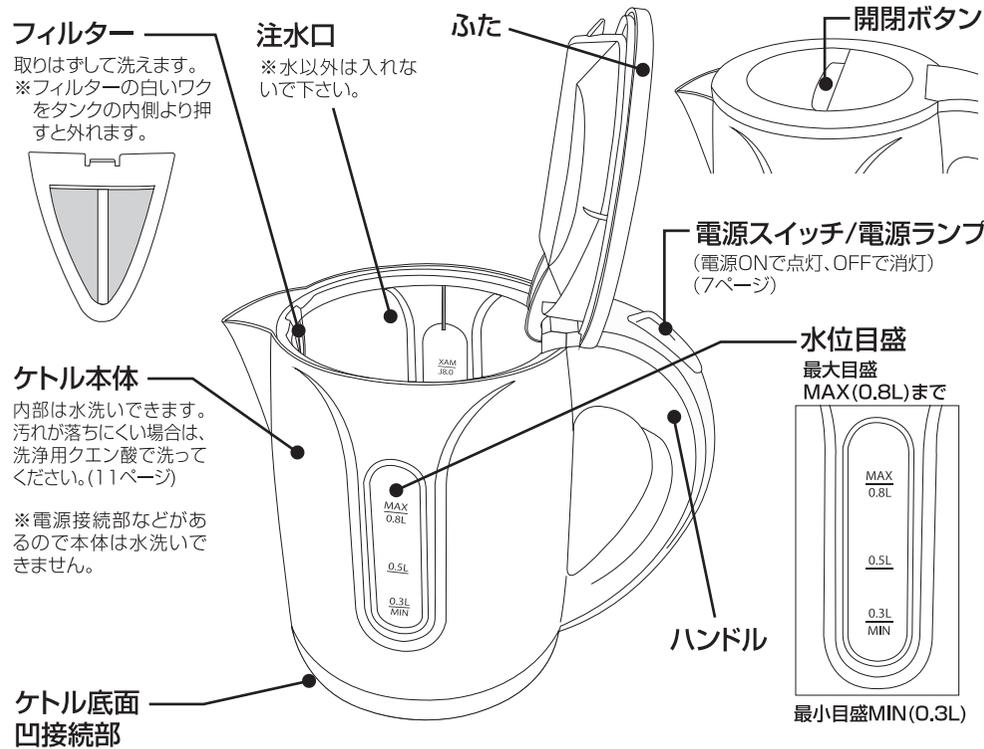
空だき防止機能が働いて電源スイッチが切れたり、お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。

ケトルと電源ベースの接触端子部を確実に接触させてください。

接触が不具合の場合、電源スイッチが入らなったり、切れなくなったりします。故障の場合はお買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。

各部の名前とはたらき

- 本製品は、ケトル本体と電源ベースの分離式になっています。
- 電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源ベースから、はずすと電源スイッチは自動的に切れます。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。
安全装置の回復まで20分程必要とし、その間電源スイッチを入れてもランプは灯きません。



使い方

警告



最大目盛(MAX0.8L)以上の水を入れない

沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ハンドル以外の本体部など高温部にふれない

やけどの原因になります。お湯が沸いたときのケトル表面は、約80℃以上になります。



水ぬれ禁止

ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない
ショート、感電、故障の原因になります。

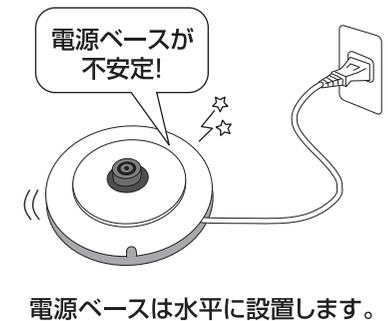
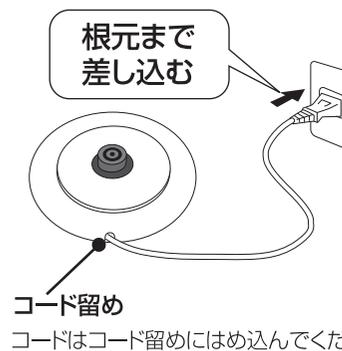
- 初めて使うときは、事前にケトル内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。

お願い

- ※余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。
- ※ケトルの最低目盛以下の水量を沸かさないでください。空だき防止機能が働いて自動的に電源スイッチが切れる場合があります。この場合は、ケトルを電源ベースからはずし、しばらく冷ましてください。
- ※本器は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけを沸かしてください。

1.電源を接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。
電源ベースは水平に設置してください。



使い方(つづき)

2.ケトルに注水する

①ケトル本体を電源ベースからはずし、新鮮な水を必要な量(0.3L~0.8L)だけ入れます。

②ふたをパチンと音がするまでしっかりと閉めます。
※ふたをしっかりと閉めない
と、沸騰してもスイッチが
切れません。



3.ケトル本体を電源ベースに載せ、電源を入れる

①水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。

②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。

③電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。



4.お湯が沸き、電源が切れる

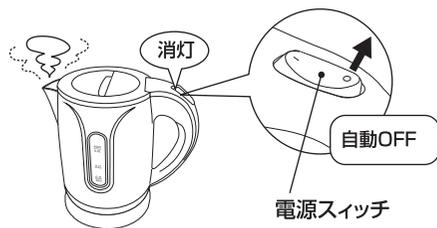
お湯が沸くと自動的に電源が切れます。
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消えます)。

お湯が沸く前に電源を切る場合

電源スイッチを指で押して、電源ランプが消えたことを確認する。

連続して使用する場合

数分間、冷ましてから電源スイッチを押してください。



お願い

お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、おおよそ0.8Lで7分30秒程です

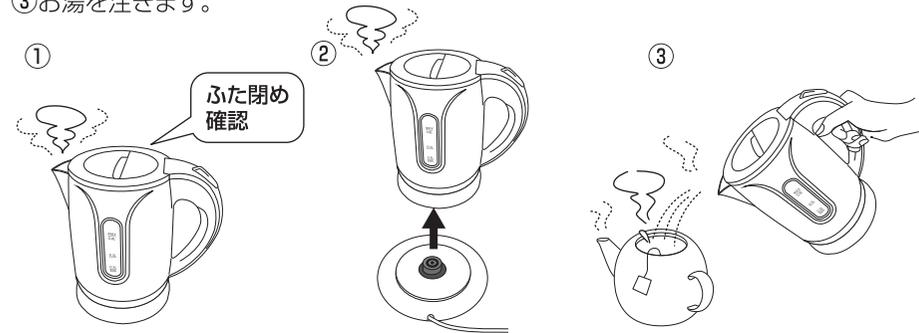
使い方(つづき)

5.お湯を注ぐ

①ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。

②ケトル本体を電源ベースからはずします。

③お湯を注ぎます。



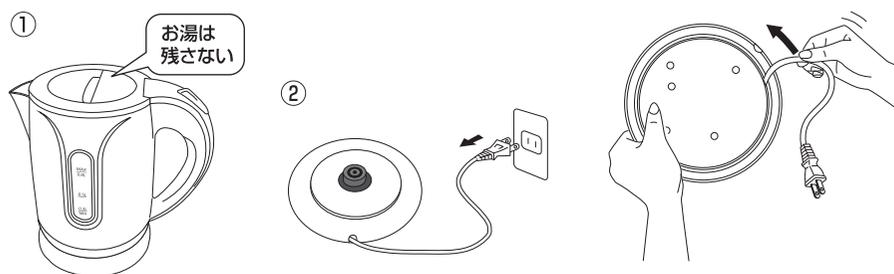
●ケトルの底面はあまり熱くなりませんので、直にテーブルなどに置くことができます。

直置きOK!

6.使用後は

①残った水は残さず捨ててください。

②使用後はコンセントからACコードを抜き電源ベースに巻きつけます。



お願い

●残り湯は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因になります。

お手入れ

警告



水ぬれ
禁止

電源ベース、電源コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない。

ショート、感電、故障の原因になります。

注意



冷えてから
行う

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う。

高温部に触れるとやけどの原因になります。

- 日常、こまめにお手入れしてください。(9～11ページ)
- 長く使用しているとケトル内部に水アカや白い浮遊物などが付着します。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。(11ページ)

お願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤を使わないでください。においの原因になります。
- 容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

ケトル内部の水アカ(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。

衛生上問題はありますが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。(11ページ)

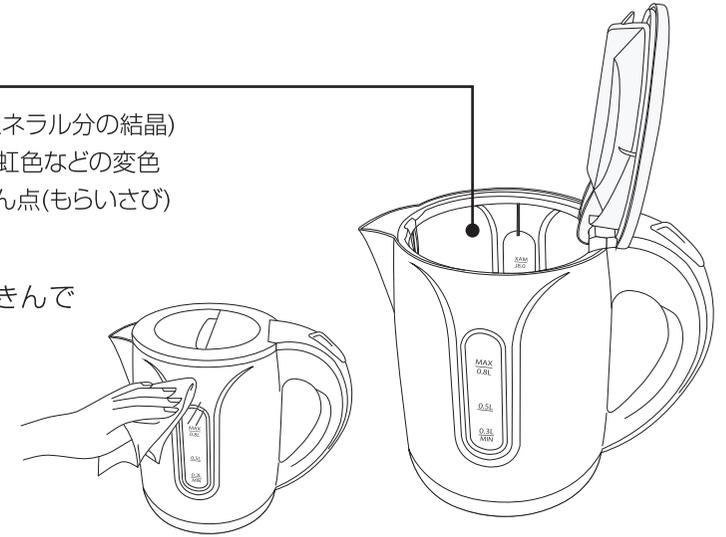
※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

日常のお手入れ

ケトル内部

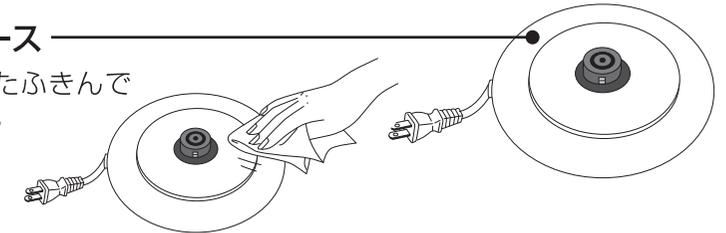
- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

よく絞ったふきんで
ふきます。



電源ベース

よく絞ったふきんで
ふきます。



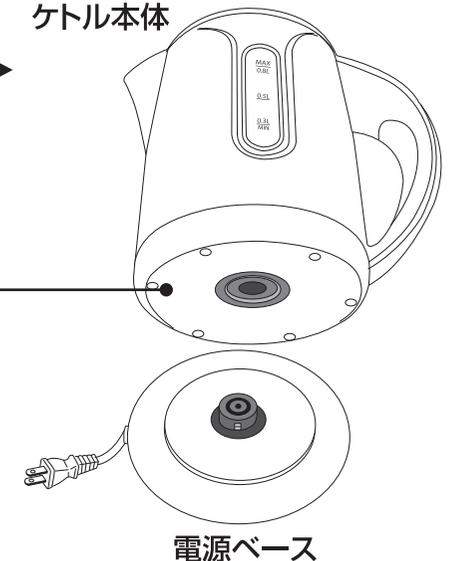
ケトル本体

<水洗いできません>

- ケトル本体下部、電源ベースには電源接続部などがあるのでケトル本体の内部以外は水洗いすることはできません。

ケトル底面
凹接続部

電源ベース
凸接続部



電源ベース

日常のお手入れ

ケトル内部の落ちにくい
汚れを取るためには

クエン酸洗浄

市販の電気ケトル洗浄剤が簡単で
便利です。その場合は洗浄剤の取扱
い指示に従ってご使用ください。

1. ケトル本体に最大水位目盛(MAX)まで水を入れ、約15gのクエン酸を入れて、ふたをする

2. ケトル本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる

- ①水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。
- ②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ③電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。

3. お湯が沸き、電源が切れる

・お湯が沸くと自動的に電源が切れます(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消える)。

沸騰後、約1時間放置する

4. ケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる

5. ケトル内部をよく水ですすぐ

6. クエン酸のにおいをとるため、水だけを最大水位目盛(MAX)まで入れて再度、沸騰させて、お湯を捨てる

・お湯の沸かしかた、捨てかたは上記2～4までをくりかえします。

お願い

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。
- 必ず、水から洗浄を始めてください。湯は入れないでください。
- 最大水位目盛(MAX0.8L)以上に水を入れしないでください。
- クエン酸洗浄後は電源ベースへの通電を止めます。

このような時は

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は?	調べるところ	処 置
湯が沸かない	電源ベースのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう	0.3Lに満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりしませんでしたか。 ケトルを空だきすると、空だき防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れていたり、壁面がはがれたように見える	水アカが容器に付着したものがはがれたものです。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。が有毒ではありません。	容器をお手入れしてください。
湯沸かし時の音が大きくなる	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(9～11ページ参照)
電源スイッチが入らない	ケトルと電源ベースの端子接触部が正しく接触していますか。	接触を確実にする。(7ページ参照)
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかりと閉まっていないと沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがって調べたいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

仕 様

電 源	AC 100V(50-60Hz)
消 費 電 力	800W
製品寸法(約)	約(W)20.2×(D)13.1×(H)18.5cm(ハンドル寸法含む)
重 量	約600g(電源ベース含む)
容 量	0.8L
コードの長さ	約75cm

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書

- 保証書は取扱説明書の裏表紙下に付いています。
- 保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡しいたします。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保証期間は、製造打ち切り後5年です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または当社にご連絡をください。

なお、本体の故障や不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

■廃棄するときは

本機を破棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。保証期間中の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。また、保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈保証規定〉

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、または当社が無料修理をいたします。
- 2.保証期間内に故障し無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店、または当社に商品をお持ち込みになり、この保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
- 3.次の場合には、保証期間でも有料修理となります。
 - ①この保証書の提示がない場合
 - ②この保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいはこれらの字句を書き替えられた場合
 - ③ご使用上の不注意、あやまりによる故障、損傷
 - ④お買い上げの販売店、または当社サービス部門以外での不当な修理、または改造による故障、損傷
 - ⑤天災地変などの不可抗力による故障、損傷
 - ⑥お買い上げ後の輸送・移動時の落下などによる故障、損傷
 - ⑦本商品以外の機器に起因する故障、損傷
 - ⑧特に過酷な条件下において使用された場合の故障、損傷
 - ⑨消耗部品の損傷
- 4.この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid in japan
- 5.この保証書は、再発行できません。紛失しないように大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した保証期間・条件のもとに無料修理をお約束するもので、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間内での本保障内容についてご不明な場合、また保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。
 - 商品の修理・検査のための送料、およびお客様への返送料金は、保証期間内・期間経過後を問わず、お客様にご負担頂きます。なお、商品を送付する場合は、輸送中の事故を防ぐためしっかりと梱包してお送りください。